


進路だより

第4号

令和7年5月8日発行

文責：東豊高校進路指導部
題字：書道部

5月に突入！リスタートを決めろ！



新年度に入って早いもので、1か月が過ぎ去ろうとしています。GW前は新しい環境に慣れるのに大変だったと思いますが、GWで少しリフレッシュできたのではないのでしょうか。でもまだちょっと疲れ気味の人たちもいると思うので気持ちを持ち直して、頑張っていきましょう。



進路指導部では、4月から多くの進路のお客さんが来校されて毎日対応しています。皆さんの進路動向などを尋ねられ、お答えしています。東豊高校に期待をしてくださっている企業の方が多くいらっしゃるのです。この先、進路指導部として、できる限り皆さんと進路先の橋渡しができるように努力していこうと思っていますので、東豊生の皆さんは可能な限りの努力を続けて、誰もが皆に可愛がられる生徒を目指して頑張ってください。



話は変わりますが、実は39期生から就職の内定率が100%を切ってしまい、40期生も内定率が下がってしまいました。毎年大体全3年生のうち、就職の希望者は30%前後います。下の表で最も注目すべき数はその他「17」です。この「17」は進路を決められずに卒業した人の数です。その内訳は、果敢に挑戦するも合格できなかった人（この人たちは卒業後、もう一度がんばって今は進路先を決めたそうです）、自己開拓で就職先を決めましたが、学校に報告せず、実際にどうなっているかよくわからない人、そして欠席・遅刻が多すぎて、進路活動ができなかった人たちです。つまり、進路活動がうまくいかなかった生徒が例年より多かったということだと思います。何故進路活動がうまくいかなかったのか。遅刻と欠席が2割を超えると、卒業する見込みがないため進路活動が制限されてしまったからです。「自分は生活リズムが整っていない」との認識がなかったのかもしれません。本当にもったいないですね。しっかりと学校生活を送っていさえすれば、どこかの企業の人事の担当者の目に留まり、内定をつかみ取ることができたはずですから。

令和7年3月卒業生（40期生）の進路決定数 →

今月の進路活動予定

- 5/8 (木)
合同企業説明会 + 進学相談会放課後
- 5/9 (金)
進学ガイダンス放課後
- 5/12 (月)
進学講習第1期募集開始
- 5/13 (火)
3年総合型入試説明会4h
- 5/15 (木)
進学マネー講座放課後
- 5/16 (金)
2年インターンシップ説明会4h
- 5/19 (月)
進学講習第1期募集締切

R6年度	進学	大学	短大	高等看護	専門	就職	内定率	その他	計
3間口	50	20	1	1	28	27	92.0%	17	94

やっぱり、自分のこころを磨き上げなきゃ

今は就職戦線は売り手市場です。求職者が多くの求人の中から、選ぶことができるので、選択の幅が広がります。今年度は大卒の初任給が30万を超えている企業が出てくるなど、企業は給料を上げてでも優秀な人材を採用したいわけです。北海道にも高校生用の求人に初任給が25万くらいの企業も出てきていて、とにかく採用したいのです。

就職で「採用」をものにするには、学力も大事ですが、もっと大事なものは「その人の人柄」だと思います。会社の方々に「この人と一緒に仕事をしたいな」と思ってもらえるような人間にならないといけませんね。心技体の「こころ」の部分です。一番見えないところです。面接をして話を交わしたら一目瞭然なところですよ。「その人がどんな人なのか」が分かってしまいます。一番痛いところ突かれる「こころ」。何とかして磨き上げたいものです。でも難しいし、時間がかかる。どうすればいいのか？

ここにいる東豊生は、就職希望の生徒でも進学希望の生徒でも、将来どこかの業界で社会のために働くことになります。働き手が欲しいのはどの業界でも同じ。高卒であろうと大卒であろうと変わりません。2階の北側の廊下には昨年度の求人票が張られています。求人票の中身をしっかりとポイントを見定めておくと、現状が見えてきます。将来のことがまだ決まっていなかったら、絶対に2階に直行ですよ。



突撃！織田部長

に聞け！

T: 織田先生、この4月はどんな1か月でしたか？

1年生はまだ緊張感があるが、2、3年生は2分されている（欠席、遅刻が多い者とそうでない者）のが徐々にはっきりとしてきた1か月でした。

T: 今年度の東豊生の全体的な印象はどんな感じですか。

元気があって明るいので、目標を持って取り組めば、辛いことがあっても笑い飛ばして進んでいける力があると思う。

T: 5月を乗り切る秘訣を東豊生に教えてください。

5月病は怖いですが、絶対に1人で抱え込まないこと。困ったことがあったら必ず相談して欲しい。できれば大人に。誰かと必ずつながっていること。そうすれば、絶対、前に進めます。

高校で進級するのは大変です

先日、ある専門学校の先生が「最近学校に来ることさえできない生徒が増えてきているんですよ、何とかありませんか」と尋ねてきました。聞いていた私もビックリしました。うちの学校と同じだ。続けていくのが大変なんだと率直に思いました。

高校生になると、毎日朝に決まった時間に起きて、ご飯を食べ、学校に行くのが当たり前。「学校に遅れて行ってもいいや」と軽く考えていると、すぐに進級することさえも怪しくなります。高校はそんなに甘くないです。自分が選んだ学校で、やるべきことを真剣にやるのが進級の近道です。授業中に寝ているとか、内職をしているとか、ノートやプリントなどを書いていないとかそんなことを繰り返していると進級できなくなります。

皆さんの周りには多くのサポーターがいます。そのサポートを無視してまで自分で何とかしようとするのか。絶対に、多くの人が手を差し伸べてくれるはずです。助けを求めましょう。東豊生頑張れ！

